

塗装では、車体にまがった色がつかないようにします。横島歩夢君（豊園小5年）は「きれいにマスキングする技術もすごいと感じました」



北海道新幹線の車両基地の中を見学した「まなぶんこども記者団」。新幹線には速さや運休の少なさなど魅力が多いと感じている三和航晴君（本町小6年）は「基地の広さに、ますます驚きました」。山賀いち（さん）（北光小6年）は「何度も点検し、安全を保つ気持ちが伝わってきた」と話していました。

まなぶんこども記者団  
新幹線車両基地を見学

## 安全保つ気持ち伝わる

検査のための建物に入ってくる新幹線。伊藤理央さん（伏見小5年）は「お客さんのために懸命に働く姿が見られて良かったです」



定期的に行われる検査。久我悠泰君（南月寒小6年）は「車両から側板まで外すんだと、興味を持ちました」

屋上からながめた新幹線。木村菜羽さん（厚別通小6年）は「車両がすれちがう様子が面白かったです。速度を細かく管理していることも学びました」



### 新幹線の主な検査内容

- ★2日以内に1回…ブレーキやドアの動作、電気を取るパンタグラフなどの確認
- ★30日以内（または走行3万キロ以内）に1回…機器内部の状態や機能を確認
- ★18カ月以内（または60万キロ以内）に1回…車輪やモーターがついた台車を分解して検査
- ★36カ月以内（または120万キロ以内）に1回…すべての機器、いすなども取り外して検査

今回の「こども記者団」は札幌市が主催。参加者の募集や取材のサポートなど北海道新聞社が後援し、車両基地の見学はJR北海道の協力を得ました。こども記者8人は新幹線で青森、岩手の観光地も訪れ取材。その様子は11日と18日の「週刊まなぶん」で紹介します。



こども記者のみなさん。（前列の右から時計回りに）横島歩夢君、三角晏生君、菊谷美月さん、伊藤理央さん、木村菜羽さん、山賀いち（さん）、久我悠泰君、三和航晴君